



「いいこと」を考える子

副校長 渡辺 賢志

十一月十七日（木）から十九日（土）にかけて作品展が行われました。多くの方々に御来場いただき誠にありがとうございました。今回の作品展の共通テーマの言葉は「みんなのいいこと かんがえた！」でした。図工や家庭科の作品には、子供一人一人が考えた「いいこと」が込められています。体育館と家庭科室、理科室に加え、会場内外の空間や廊下、階段の壁面等、学校中に久原小の子供たちの個性的な表現があふれ、授業で深まる子供たちの考え、「いいこと」を、作品を通じてお伝えすることができたと思います。

「みんなのいいこと かんがえた！」は、「みんなのいいこと／かんながえた！」と区切ることもできます。「みんなのいいこと」は「みんなの展示には、小さな「イセキング」がたくさん隠れていました。低学年の児童が発見し、「あ！こんなところにもいた！」と喜んでいる声が何度も聞こえてきました。六年生による「作品展プロジェクト」で作成した看板を見て驚き、パンフレットやスタンプラリー、クイズを楽しみ、お礼状を嬉しそうに持って帰る姿を見ることができました。作品展を見る人にとっての「いいこと」が何かを考えた成果です。

今年度、学校ホームページに作品展の動画を限定公開しています。これも、教職員が、より多くの方に作品展を楽しんでいただきたという「みんなにとってのいいこと」を考え表れと思っていただけと幸いです。また、御来場の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策への御協力もありがとうございました。改めて感謝申し上げます。これも、子供たちが様々な学習活動を通じて、自分にとっての「いいこと」を深めていくとともに、皆にとつての「いいこと」を考うぞよろしくお願いいたします。

教育目標

歴史を誇る久が原の大地に
深く根を下ろし桜のように明るく潔く、
櫛のように天高く伸びてゆく久原小学校に学ぶ子は、
一、健康な子 二、考える子 三、やさしい子 四、礼儀正しい子

日	曜	予定	備考	日	曜	予定	備考	
1	木	B時程 生命尊重週間始	SCU	17	土	小学生駅伝大会		
2	金	B時程		18	日		ス校	
3	土			19	月	全校朝会		
4	日		ス	20	火	社会科見学（4年）	SCS	
5	月	全校朝会 委員会活動		21	水	B時程		
6	火		SCS	22	木	給食終	SCU	
7	水	B時程 児童集会 避難訓練 保護者会（4・5・6年）		23	金	終業式 大掃除 土曜時程4時間授業		
8	木	B時程 安全指導	SCU	24	土			
9	金	B時程 生命尊重週間終		25	日		ス	
10	土	土曜授業3時間 算数土曜補習（4時間目）		26	月	冬季休業日始		
11	日		ス校	27	火			
12	月	全校朝会（小学生駅伝大会壮行会） クラブ活動 交通安全教室（1・2年）		28	水	1月10日（火）始業式 大掃除 書初め会 土曜時程4時間授業 1月11日（水）給食始		
13	火	B時程	SCS	29	木			
14	水	B時程 児童集会 保護者会（1・2・3年）		30	金			
15	木	持久走タイム終	SCU	31	土			
16	金	ジャイアンツアカデミー（4年）		1	日	元日		

（備考）

SCU：浦山スクールカウンセラー来校
SCS：佐々木スクールカウンセラー来校
ス：スポーツ開放 校：校庭開放

生活目標	身の回りをきちんと整理しよう。
給食目標	きれいな教室で楽しく食べよう。
保健目標	かぜやインフルエンザに気をつけよう。
安全目標	道路標識をよく見て、交通ルールを守ろう。

作品展を終えて

図工専科 中林 美樹

本校の作品展が11月17日、18日、19日に行われました。1学期、2学期に取り組んだ図工科、家庭科の全児童作品が、体育館、家庭科室、理科室に勢ぞろいしました。児童鑑賞の時間は学年ごとにじっくり見たり、きょうだい学級のペアでお互いの作品を、紹介しあったりして、「これいいね!」「すごい! どうやってつくったんだろう?」といったつぶやきが次々に聞こえてきました。

今回の作品展のテーマは「みんなの『いいことかんがえた!』」でした。発想が広がり、新しい考えに出会った瞬間、思わず子どもたちの口からこぼれる言葉です。この一言がたくさん生まれる作品展にしたい、という願いをこめたものでした。

思いのままにぐいぐいとパスを走らせた1年生、初めての Cutter でじっくりと窓の形を切った2年生、ユニークな表情のお面に生命力あふれる色を重ねた3年生、無心に釘を打ち、遊び方を工夫した4年生、紙をつなげて見たことのない形を生み出し校内をアート空間に変身させた5年生、自分だけのアイデアを大切に、木工やマイバッグづくりに取り組んだ6年生……。各学年、一人一人の力を発揮して、その時の自分にしかつくりえない作品をつくりあげました。

造形活動や裁縫に取り組み、全学年の鑑賞をすることによって、楽しく豊かな生活を創造していくことを体験できる、またとない機会だったと思います。御家庭でもぜひ作品や活動について話題にしていただき、子供たちの素直な思いに耳を傾けていただけますと幸いです。



3年生の窓「創造の翼を広げて・・・」

学年主任 正木 美佑季

作品展に向けて、アイデアを膨らませながら作品作りをしました。平面作品「ドリームボード」では、普段使っている絵の具の新たな使い方を知り、色がにじんでいる様子を楽しみながら描きました。立体作品「ハッピーマスク」では、土台から作り、工夫を凝らして仕上げました。どの作品からも子供たち一人一人の思いが伝わってきました。どんな思いで作ったのか、完成してどう思ったのか、子供たちの声を紹介します。

- ・「ドリームボード」は、絵の具で色をにじませるということを初めて行いました。最初は、水の調整が難しくてうまくいかなかったけれど、友達から「筆の先をちょっとやるといいよ。」と教えてもらってやってみたら、上手ににじませることができました。鳥が映えるように背景の色を考えて描けて良かったです。(1組)
- ・「ドリームボード」では、夏休みに沖縄旅行に行った思い出をこめて沖縄でしか見られないような鳥をかきました。「ハッピーマスク」では、大好きな犬と猫とスイーツをモチーフにしました。アイデアスケッチをもとにうまく作れて良かったです。(2組)
- ・「ドリームボード」は自然の神様みたいに、小さい感じだけど強そうに見えるように色を濃く塗りました。「ハッピーマスク」はあまり濃い色を使わないで、ハッピーになるように薄い色を使いました。両方の作品とも色にこだわって作りました。(3組)
- ・「ハッピーマスク」は、パイナップルの形にしました。笑っているパイナップルにしたらみんなが笑顔になってハッピーになると思って作りました。(4組)
- ・「ドリームボード」は、呑川にいるハクセキレイをイメージして作りました。おなかのところは鱗を入れて、水陸両用の鳥になるように工夫しました。1年生のときより上手にできて、5年生になったら今の倍ぐらい上手にできるようになりたいです。(5組)

生命尊重週間

人権教育担当 吉澤 綾

12月1日(木)～9日(金)は、生命尊重週間です。

国際連合で1948年(昭和23年)12月10日世界人権宣言が採択されたことから、人権活動を推進する日として定められています。いじめや差別、偏見や誹謗中傷など、様々な人権問題があることを知り、みんなで人権を尊重することについて考え、行動していけるようになるための週間です。

この期間にぜひ御家庭で考えていただきたいことは、「自分を大切にすること」、「周囲の人を大切にすること」、更に「自他ともに命を大切にすること」です。年齢や性別、立場に関係なく自分を少しでもよくしていこうと向上心を持ち、自分の願いや夢をかなえるためにしっかりと考え、判断できるようになってほしいと思います。また、周りの人(家族、友達、御近所の方々、学校の先生たち)の気持ちを考えて行動したり、大切に思ったりすることで自分も更に生かされていくのではないかと思います。そして、たった一つしかない自分のかけがえのない命を大切に、精一杯生きていくことを大切に、様々な経験をしていってほしいと願っています。

自分だけではなく周囲の人にも気持ちよく、幸せに過ごせるように、学校でもいろいろな機会をとらえて呼びかけています。御家庭でもお声掛け願いますようよろしくお願ひいたします。